

宇都宮市立海道小学校 第5学年児童質問紙調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題

○「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」の肯定的回答の割合は88. 2%で、県平均を19ポイント上回る。今学習での計画的な勉強を進めていくとともに、基礎・基本がより一層定着するよう、家庭学習の内容を充実する。

○「グループ等の話し合いに自分から進んで参加する」の肯定的回答の割合は91. 2%で、県平均を17. 7ポイント。の中に言語活動を重視した学習活動を取り入れた成果が見られる。

○「早寝、早起きを心がけている」の肯定的回答の割合は91. 2%で、県平均を10. 9ポイント上回る。また、「家のついて話をしている」の肯定的回答の割合は 100%である。家庭での基本的生活習慣が定着していることがわか。

●「見てはいけないサイトにつながらないようにしている」に対して「はい」と回答した割合は14. 7%で、県平均をト下回り、「わからない」と回答した割合は79. 4%である。情報モラル教育等の指導が必要である。

●算数と理科の「教科の問題をとく時間は十分でしたか」の肯定的回答の割合は70. 6%、67. 6%で、県平均を1ト、16. 2ポイント下回る。問題文を読み、何を聞かれているのかを理解し、時間内に回答する力を伸ばしていける、やドリル学習に取り組ませたり、時間を決めて問題を解かせたりする。

が見られるもの
後とも家庭

上回る。授業

人と学習に
る。

28. 6ポイント

13. 0ポイント
よう, プリント